

==== 目次 =====

- P1
今号の TOPICS
「自然観察会の
リーダーの役目は？」
- P2
4班 イタリア旅行で観たものは
3班 月山、鳥海山を訪ねて
- P3
2班 古寺巡拝
1班 伏条台杉
- P4
「自然と文化科」誕生の思い出
リレー随筆「科外活動」
- P5
パソコン塾に参加して
ちょっと変？
絵画・写真
- P6
俳句サロン
第5回箕面観察会検定①

==== ◇自然と文化だより

大阪で9月6日に、35度を超える猛暑日が29日間となり、これまでの記録を更新したそうです。一般の人は「暑い、本当に暑い、しんどい。」というのが挨拶だそうです。自然と文化のメンバーはそんな暑さにめげず、山歩きや街歩きに多くの人が参加し、頑張りました。さすがです。6号から箕面観察会検定クイズが復活しました。



今号の TOPICS

「自然観察会のリーダーの役目は？」

観察グループ専任幹事 石川 浩

自然と文化科の「自然」の部分は観察グループと調査グループ、さらに社会貢献グループの一部、研修グループが担っている。

その一つ観察グループには観察リーダーとしての力量を持っている方が多く、交代でガイドをしてもらっている。また、甲山森林公園ではここを拠点に活動している「武庫ネーチャー」のメンバーに、京都府立植物園では「みやことおうみ」のメンバーにガイドをお願いした。観察会では他の観察会同様リーダーの説明を聞き、科員が観察するという形で進めている。

ところが先日、児玉さんと話していて、観察リーダーというのは観察会のマネージメントをするのが任務で、ガイドはみんなでするものと言われて戸惑った。マネージメントとは観察ポイントへの道案内、時間調整などであり、今までガイド中心だった観察会リーダーのイメージが大きく変わり、まだ私の頭でも整理できていない。

確かに「リーダー」イコール「教える人」ではない。観察会で「教える人」、「教えてもらう人」が固定しているのはおかしい。これも分かるが、簡単に抜け出せない。とりあえず自然と文化科に集まった以上、講座生箕面観察会や社会貢献グループの観察会他でガイド体験を積み重ねていくことからスタートするのがよいと思う。

観察会の進め方も少しずつ変えていきたい。今までどおりの観察グループでガイドをする観察会だけでなく、みんなで同定しながらすすめる観察会も計画したい。そのために、「植物名を言う」→「特徴の説明」→「観察」のガイドでなく、まず「観察」→「特徴の説明、同定の仕方」→「植物名を聞く」ガイドを一部取り入れることから始めようと思う。このやり方では時間がかかり、たくさんの植物を観察したいという要求には応えられないが、一人ひとりの力量を高めるための学ぶ機会として位置付けたい。

昨年までは各班1～2名の観察リーダーがすべての観察会のガイドをしていたが、観察リーダーに選ばれた人の負担が大きかった。今年度は、自分で選んで入った観察グループの中で、交代でリーダーをするようになり多くの人が体験できるようになった。今後新しい人が観察グループに入ってくれることを期待している。



(工作同好会の作品から)

「イタリア旅行で観たものは」

4班 山下 勝弘

妻とイタリアへ7月10日から9日間、旅行した。ドバイ経由、ミラノ、ベネチア、フレンチェ、ピサ、ローマ、ポンペイ、ナポリ、カプリ島と駆け足で観光地を訪ねる格安パックスツアーである。梅雨の最中、日本を抜け出し、イタリアは、晴天に恵まれ、38度の暑い日が続く、体力と水を消費する旅となった。しかし、日本と違って、さすが、地中海気候で木陰は涼しく冷えたイタリアビールは旨かった。

北イタリアの山の景観は巨木が少なく、イトスギ、オリーブ以外、日本の樹種とそれ程違いが無い様に写った。街路樹は、ぼんぼり状に木の高い処で丸く刈上げられた松の並木が目を引き。フレンチェからピサに行く高速道路沿いには植木畑が連なって、ベニバスマモ畑の紫の帯、盆栽の看板と展示が目止まる。植木が結構盛んである。畑はトウモロコシ畑が多く、刈り取ってバームクーヘン状に巻いた飼料が畑に転がっている。また、向日葵畑が点在、ソフィア・ローレンの映画の一場面を思い出す。

炎天下、キョウチクトウの花が咲いたポンペイ遺跡は、ヴェスヴィオ火山の噴火で紀元後79年8月24日に突然、火山灰に埋め尽くされて、商店、居酒屋のワインの壺、サウナ、富豪の庭園跡等、商業都市の遺跡は、碁盤の目状に通りがあり、大きな通りは石で舗装されていた。市の中心には広場もあり、計画的に設計された都市である。また、当時は性的におおらかな時代であったのか、外国商人向けの娼婦館のような施設も多く、言葉の不自由な外国人に、路面に男子のシンボルで方向を刻んだ遺構等、現地ガイドの説明は興味深く、想像豊かに見学をした。

これらの記録は、最後の観光地・カプリ島、青の洞窟で、波に合わせて一気に洞窟に入る小舟の波をビデオカメラがもろに被った。修理に出したが、見積は新品と同額。記録をハードデスクから取り出すことも出来ず、VISAカードの保険の請求手続きをするはめとなった。

ポンペイ遺跡



娼婦館のレリーフ



月山、鳥海山を訪ねて

3班 牧野 能子

6月の梅雨の合間に月山、鳥海山に行きました。雨を心配しながらですが運よく好天でしたが月山の御釜に到着したとたん大雨に遭い靴の中までびしょ濡れ、でもしっかりと御釜を見てきました。弥陀ヶ原湿原では靴のドロをマットで落としガイドの案内で木道を歩きました。お馴染みのワタスゲ、ニッコウキスゲ、イワカガミ、イワイチョウ、チングルマ、ミヤマシオガマ、等が咲き乱れ、何方かが「天国ってこんなところかな？」と呟いていた。本当に良かったな。もう一度行ってみたいところである。移動の途中では日本の3代美林(青森ヒバ、秋田スギ、木曽ヒノキ)の秋田スギが続いていた。あがりこ大王の森へ入る前に管理棟の前でガイドさんからこの小雨は貴重なものが見えるかもしれないと言われ期待が大いに膨らむ。そして上下のカップにスパッツ、杖も用意し準備万端良し。赤川に架かる橋を渡っていいよヒヤッとした森に分け入っていく、木道も緩やかな勾配で滑らないように歩く。雨に濡れて滑りやすいと注意を受けていたが、案外安定していたので安心して説明を受けることができた。奇形のブナが次々と出てくる。幹の根元から2メートル足らずのあたりにコブが重なり合いそこから枝が出て形成されている。ブナは明治の中頃までは薪、炭の材料であった、かつて炭焼が行われたこの地域では積もった雪(2メートル弱)の上に出ている幹を採って利用することを繰り返しているうちに切り株がコブ状に盛り上がり奇形のコブができたらしい。ブナの葉は縁が波打ちへこんでいる葉脈はそのへこんでいる方につく雨が降れば葉がトユのように葉から枝へ、幹と滴り落ち直近で見ると感動モノである。小雨のお陰で貴重な体験をすることができた。獅子ヶ鼻湿原にはいと透きとったような冷たい伏流水に身を委ねた鳥海マリモがあった。急流が複雑な水底とぶつかり鳥海マリモを半球形にする。コケなのに流れていかないのは、周りの植物と共存しているから？帰りの飛行機は低気圧の影響で乱気流が発達し上下左右に大揺れに揺れ男性陣からもオーッと漏れるほどのおまけが付きました。



古寺巡拝

2班 泉谷 史

8月の大山は澄み切った空気と緑につつまれ、時折小鳥のさえずりが聞こえる素晴らしいところです。大阪から高速で約3時間。

由緒ある社寺や文化財が数多く残っています。

大山は奈良時代から神仏習合の霊山として崇められ隆盛を誇ったところで大山の山という字を「せん」と読むのも仏教用語の「仙」に通じているためとされています。

平安時代には100を超える寺院、僧兵3000人を配する一大勢力でしたが、明治の廃仏毀釈により大山寺号は廃絶となり急速に衰退し建物も取り壊され、今は木々の間に大山寺と10の寺院がひっそりと残っています。

当時の十三堂塔三院谷四十二坊も伯耆では古くから大山寺および三仏寺が修験者の道場として名高く共に役の行者が開いたところとされ、国宝や文化財が多く残されています。

【本堂】現在の建物は、昭和二十六年に再建されたものです。御本尊は地蔵菩薩。

【阿弥陀堂】重要文化財。慈覚大師の創建と伝えられる室町期の建築。

【下山観音堂】御本尊は十一面観音菩薩。白鳳期の金銅仏で国の重要文化財に指定され、現在霊賓閣に安置されている。下山観音堂の御本尊はその控仏です。

【阿弥陀三尊像】重要文化財。阿弥陀堂内に安置されている阿弥陀三尊は三体とも国の重要文化財に指定されている。天承元年(一、一三一年)大仏師良円によりつくられ、殊に阿弥陀如来は丈六の座像(像高三、五三)の大作で藤原時代末期を代表する秀作です。



伏条台杉(ふくじょうだいすぎ)

1班 松川 淑子

今年の5月に所属しているウォーキング会で、京都北山の小野村割岳に行ってきました。

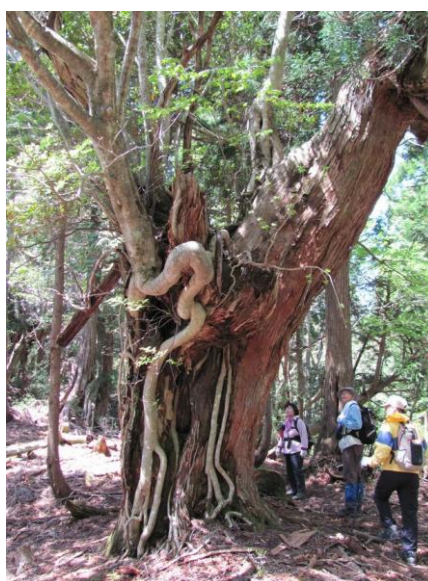
出町柳からバスで1時間40分、能見口から登山開始です、峠を超えたら美山町という山の中で、イワツバメが橋の下に巣を作っていました。

今日の目的は、沢沿いを上がった尾根筋にある杉の巨木を見ることです。

伏条台杉、私は初めて聞く名前なのですが、その異様な古木に驚きました。

能勢の「台場クスギ」や滋賀県マキノ町の「山おやじ」と同じように台木なのですが、杉を切り出す時に2、3m上から伐採して放置する、そこからひこばえが成長して太い枝が出来て又伐採、100年単位くらいで何度も繰り返す。そうすると根元が膨れた、普段私達が目にする植林杉とはおよそかけ離れた巨木が出来るのです。

もともと雪の多い地域に生育する芦生杉(裏杉)です、雪の重みで枝が折れ曲がり、そこからまた芽を出し、奇妙な形になります。



又、曲がった幹は切り出されずに放置されるので、ますますいびつな巨木にブナやミズナラなど多くの木が寄生して、何がどうなっているのかわからないような台杉もありました。

私達が普段目にする植林杉(シロスギ)は、江戸時代から始まったもので、長い時間をかけて品種改良されたものです。

それ以前は天然杉を切り出す方法ですから台杉は大事にされたでしょう、それ故かその杉の凛としたたたずまいは薄暗い森の中で生命力を感じさせます、そして感動も覚えます。

京都北山といえば今や山ヒルの名所です、ヒルは恐いので秋まで待って是非もう一度伏条台杉に会いに行きたいと思っています。

「自然と文化科」創成期の思い出

杉本 節子

「自然と文化科」は2004年4月に科員19名(高等科1期2名・2期17名)賛助会員4名(新研究科開設のお祝いかな?)で船出した。組織として代表・幹事2名。会計1名と企画委員会を設置し、活動スケジュールの決定につとめた。活動は班単位(4～5名)とし、活動内容は「都市と自然の関りについて、都市の公園、緑地問題を調査研究する」、「近郊の山地、里山について調査する」、「外部講師による講演会を開催し、知識の向上を図り活動方法等を学ぶ」、「仲間とともに自然を学ぶ楽しみを原点とし、自然観察会やミニ講演会をとおして、社会に貢献する」の4点とした。常設の研究フィールドとして近接している都市公園「大阪城公園」を設定した。また、第3金曜日に公開講座を企画「環境プラザ」の会議室を借用した。両施設とも「大阪城公園」に隣接していることから1～2回/月植生調査活動を行い大阪城の歴史についても講演会や大阪城の見学等で学ぶことができた。大阪城は大阪に住む我々にとって象徴的な建築物であるが、その建立については私と同様誤った知識を持っていたのではないかと思う。大阪城は豊臣秀吉によって建立されて現在の姿であると信じていたが、実際は豊臣大阪城の上に徳川家光により建立されたことを知って、このように間違った知識を他の面でも持っているのではないかと認識を新たにした。その他野外観察会は北山植物園・甲山森林公園・不眠の森・有馬富士公園・京都御苑・大仙公園・武田尾の植物観察・能勢の里山・生駒の棚田等の現状等見学した。当初活動は班活動をするようになっていたが、野外活動時は1つのグループとなって行動していた。

大阪城公園を常設フィールドとした成果として、講座生対象の観察会を実施することができた。参加した講座生のアンケートでは、植栽された公園でなく、もっと自然環境のある場所での観察会を希望するという意見もあり、同感していた我々も2年目への課題とした。そこで交通の便がよく自然が残されている箕面公園が候補地に上がり、現在に至っている。1年で退科された方々は地域でのリーダーとして活躍されている。

リレー随筆

科外活動

堀内 信彦

今年の暑さは何だろうね。地球温暖化?それとも地球の温度変化サイクル?ヤッパおかしいな～。汗を拭きながら昼からの打ち合せに行く。仲間の一人がこんな報告をしてくれました。

この間 A-コープで買い物に付き合っていたらカワイイ女の子がニコニコ近づいてきて「オッチャンこんにちは」「エッ俺の事?どうやらそうらしい。「愛ちゃん?」「ウン」、「大きくなったね」。「交野児童会自然教室」1期生で、当時少学1年生でした。

先生の膝から離れません。部屋の隅でじっとしていました。一緒にアンパンマン作ろうネ!夏の終り頃には笑顔が見え、秋には自分から進んで後片付けを始め、皆なの前でケン玉を披露してくれました。先生もびっくり。そんな子が5年生になって挨拶をしてくれました。感激しているところです。

交野子ども自然教室を2つ先輩に誘われ一緒にはじめました。「交野児童会自然教室」と「交野子ども自然教室」(名前は「星のまちっこ自然探検隊」、「子ども自然体験クラブ」と変遷しましたが)5年になります。今年は文科省の「子どもゆめ基金助成事業」としての活動です。

活動資金調達と行政との折衝は先輩がメインで、企画、計画、募集、調達、実践、から会計、保険など担当です。

明後日から1泊2日の「親子キャンプ」が始まります。自分でキャンプ企画するのは初めてでやっと3日前に最終調整が済みました。メインは野外料理、キャンプファイヤーにネイチャーゲームなど。

直前にシニアスタッフ2人が体調不良でリタイア、お互い無理は出来ません。

子どもと「同じ目線」での企画を目指していますが、自分の考えの押しつけや昔はこうだったからが出がちで反省させられます。

「シニア自然大学校」に入り違がったジャンルでの活動への幅を広げられた事は良かったかなと思う。

また「自然と文化科」は気持ちのよりどころ?フツと気の抜ける活動の場と仲間づくりであればよいと思っている。

できた！できた！

(熊さんのパソコン教室に参加して)

濱田 嗟智子

熊さんのパソコン教室は、南千里の静かな住宅街にあります。私の家からは、ざっと2時間。遠いです！でも、毎回、行ってよかった、と幸せ気分で帰路につきます。

(幸せ気分その1) 一人じゃできないことでも、みんなでやればできる！！

1回目は、「ホームページの作成」と「パワーポイント」のコースで、私は、前者を選択。「ホームページってナニ？」程度の私でしたが、熊さんのお手本のあと、何人かで「え～、どうやった？」「こうちゃうん？」と教え教えられるうちに、ちゃんとできるから不思議！

3人よれば文殊の知恵！ホンマヤ！

(幸せ気分その2) 自分の課題に挑戦できる！



2回目は、写真処理の初歩、縮小して貼り付け、コメントを入れる方法を教えてもらいました。今まで出来なかったことが「挿入」という作業で解決！でも、1枚ずつの縮小作業は大変！！縮専とかいう優れた技があるとかで、それは、次回の課題に。今までは、撮りっぱなしで、たまるばかりの写真でしたが、貼り付けができて、ルンルン！です。

(幸せ気分その3) お昼が楽しい！

優しい熊さんが、お昼になるとピザやお寿司、冷たい飲み物を用意してくれ、私たちは、「いっただっきま～す！！」パソコンに向かっての奮闘から解放され、おしゃべりしながらの楽しいひと時をすごします。いつも満足、満足！満腹のお昼です。パソコンを用意してくれて、親切に教えてくれて、お昼の用意もしてくれて・・・費用は実費の割り勘！こんなにエエメさせてもらってええんかな～と思つつ、いつも「ありがとうございました～♪」と、甘えています。

モチロン、ハイグレードの方たちは、パワーポイントや写真処理のウデをメキメキ上げておられます。私もいつか・・・ウン！きっとできる！！ やったらできる！！

ちょっと変？

馬場 昭子

モクレン科のカラタネオガタマが今頃咲いています。

この花は4月～5月にかけて盛んに咲きバナナの香がすることでご存知のことと思います。



吹田市江坂のわが家の近くのオフィスの生垣に3本あり今年も満開で楽しませてもらいましたが、一向に

実が付かないので、花期後も気をつけてみていましたら数日前からチラホラ花が咲き出しました。

2度咲き？この暑さに狂い咲き？

蕾もまだたくさんあります。

あちこちで起こっている現象だと思いますが

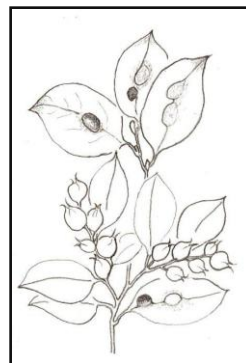
厳しい残暑が関係あるのでしょうか？

で気がつく人も少ないですがしっかり

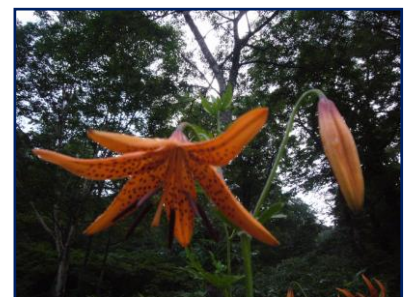
バナナの香がしています。

絵画・写真 コーナー

絵画の投稿がありました。イスノキ(マンサク科)8月22日昭和山)



(コオニユリ 大森 美子)



俳句サロン
コーナー

大森 美子

(尾瀬ヶ原にて)

チングルマ風に揺らるる至仏山

漆黒の尾瀬ヶ原なり蜩舞ふ

朝霧に凜と咲きたるサワギキョウ

(故郷の浜辺にて)

入道雲寄せては返すひとつ波

蟬が鳴き孫の泣き出す午後となる

山上 恵子

夏旅のあとは爪きり髪をきる

黄龍の空気や薄し鰯雲

苦瓜は本土来しより苦さ増し

プラットホーム迎へくれたる法師蟬

扇風機小言頭上に回りたる

天気予報猛暑の文字の赤きかな

岡田 進

イワタバコに顔さし入れてひとり笑む

イワタバコ谷川の風あつめけり

岩肌にひっそりと咲くイワタバコ

松平 吉生

七夕や帆掛け船なら天翔る

苦瓜は挫折を経たる味したり

三千世界ゴーヤーとゴーヤー手をひろぐ

つるつると猛暑の中の卵かな

おおうおおうおおうわあうあ花火

谷坂 修二

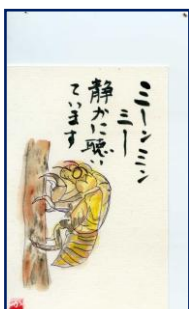
かなかなと蟬に押されて沢登り

雲を噴く山頂めざす最後尾

(黄龍にて)

山映す影透き通す五彩の湖

絵手紙
コーナー



(山下 勝弘)



(中川 恵美)

第5回箕面 自然観察 検定(1)

みんなでチャレンジしよう

自然と文化科の皆さんには優しすぎるかもしれませんが、まずは挑戦してみてください。

1 【昆虫館の入り口にある『からくり時計』は何が飛び出てくるでしょう】

- ① ハト ② カブトムシ ③ ハチ ④ フクロウ

2 【滝道にある、瀧安寺はナント読むのでしょうか】

- ① りゅうあんじ ② りょうあんじ

3 【滝道では3像が見ることが出来ますが、年老いた母を慰めるために母と共に箕面に立ち寄りました。それを記念して建てられた像はどれか】

- ① 森秀次 ② 野口英世 ③ 笹川良一

4 【熊野那智の滝133mだそうです。さて箕面大滝の落差は約】

- ① 77m ② 55m ③ 33m

5 【自然観察に行くときに使う、阪急電車の駅で標高が一番高い駅は何处でしょう】

- ① 千里線の北千里駅 ② 宝塚線の宝塚
③ 箕面線の箕面駅 ④ 甲陽線の甲陽
⑤ 神戸線の六甲駅

6 【箕面公園で聞くことのできる日本三名(鳴)鳥はウグイス、コマドリ、と後1羽は】

- ① キビタキ ② クロジ ③ オオルリ
④ カワガラス ⑤ カワセミ

7 【サクラの花の観察、ソメイシノの花びらは5枚めしべが1本さておしべは何本有るでしょうか】

- ① 5本 ② 10本 ③ 20本以上

自然と文化だより
皆さんのご協力により6号が発行出来ました。次号をお楽しみに！(宮阪)